

株式会社TOKAIケーブルネットワーク
平成 29 年度第 7 回番組審議会 議事録

開催日時 平成 29 年 12 月 13 日（水） 11 時 00 分～13 時 00 分

場所 グランディエールブケトーカイ 4 階 プレリユード

出席者 〈審議委員〉 下記審議委員 7 名中 6 名の出席

大坪 壇 様	審議会会長	（静岡産業大学総合研究所 所長）
杉山 金芳 様		ご欠席（沼津市）
石川 茂樹 様		（藤枝市）
勝間田 誠 様		（御殿場市）
古谷 光子 様		（焼津市）
渡邊 英正 様		（三島市）
青木 洋一 様		（富士市）

〈TOKAI ケーブルネットワーク〉

代表取締役社長	福田 安広
常務取締役	杉山 康則
常務取締役	岩本 裕英
取締役	近藤 雄二
放送制作部部長	澤井 宏幸
放送制作部課長	櫻井 達生
放送企画部部長	望月 隆宏
放送企画部課長	池谷 直樹
放送企画部課長	原 貴章
放送企画部課長	三船 麻友子
放送企画部	石垣 彰啓

次第

- 1.開会挨拶 （代表取締役社長 福田 安広）
- 2.議事
 - ・ 29 年度コミュニティーチャンネルの取組み
 - ・ 審議（トコチャンワイド・田中律子の旅する SUP）
- 3.閉会挨拶 （常務取締役 杉山 康則）

開会挨拶：TOKAI ケーブルネットワーク 福田社長

おかげさまで、当社グループの CATV 事業は今年の 9 月で 30 周年を迎えることができました。TCN グループ 8 社、加入件数は 100 万件を達成した。また、地域情報の拡充により、コミュニティーチャンネルを強化、高校野球の生中継、大道芸等のイベント中継を強化したことで、番組の接触率も順調に推移してい

る。地域情報を拡充し、より良いものを視聴者の皆様に提供できるよう、今後も努力を重ねたい。
尚、ケーブルテレビの業界は、放送の高度化が進んでいる。当社も4K放送、FTTHの10Gサービスなど技術進歩による新サービスの提供を更に加速させ、放送のみでなく、情報の総合インフラとして、お客様に欠かせない地域事業者として取り組んでいきたい。

審議番組：「トコチャンワイド」15分視聴、「田中律子の旅するSUP」15分視聴

審議概要：

【TCNワイド】

地域密着の話題をお届けする情報ニュース番組。地域に密着した地元の話題を放送している。平日月曜日～金曜日の12時より、月曜、水曜、金曜はメディアプラザ沼津から、火曜、木曜はメディアプラザ藤枝から生放送。当社エリア内の行政主催、民間主催イベント等の「地域ニュース」を中心に、スポーツ情報、店舗情報、イベント情報などの地域情報コーナーを織り交ぜ、有益かつ親しみやすい構成とした。

【田中律子の旅するSUP】

近年日本各地で人気・知名度が高くなっているウォータースポーツ「SUP(スタンドアップパドルボード)」の普及と楽しさを広げていく番組。サップヨガ協会会長でもあるタレント田中律子と、女優小柳まいかが静岡県内のSUPスポットを巡り、サップヨガや店舗情報をお届けする。4Kカメラで撮影するほか、ドローン、小型目線カメラも駆使し、静岡県内四季折々の絶景・癒し、ローカルズムを発信する。

番組審議委員の意見

(審議会会長 大坪会長)

- ・トコチャンワイドは、キャスターの喋りのスピードが速く感じる。ケーブルテレビの加入者層は、在宅時間が多い高齢者が多いので、ゆっくり喋った方が良い。天気予報は分かりやすくて良い。
- ・「月刊トコチャン」(地域情報誌)のような、紙媒体の告知物はとても有効である。漢方薬のように、特効薬のように後から効いてくるもの。費用効果は図りにくいと思うが、継続してつづけてほしい。

(三島市 渡邊委員)

- ・トコチャンワイドは全体的に良い。カメラが動くことに少し違和感を感じた。
- ・旅するSUPは、県内海岸線を紹介していて良かった。地元の人や町並みなどを映すと、その場の雰囲気や雰囲気が伝わり、地域の活性化につながる。

(御殿場市 勝間田委員)

- ・トコチャンワイドは、前回指摘をした「キャスターが原稿を読むため下を向いてしまう」ことは改善されている。番組の構成も良いと思う。
- ・旅するSUPは、登場人物だけでなく周りの景色も見ることができ、彩りも良かった。出演者が掛け合いで話をする際、カメラを意識しており顔が見れて良い。現在流行している「インスタ映え」するスポットを紹介するなど企画を盛り込むと地域活性化につながるのではないか。

(焼津市 古谷委員)

- ・トコチャンワイドは、改善ができていますが、キャスターやゲストなど、出演者の衣装を検討してほしい。自前の衣装ということは理解できたが、テレビに出演する以上、出演者同士、洋服の色を合わせるなど、工夫がほしい。キャスターの声の発声等は良くなっており努力は伝わるが、視聴者の目に訴えるよう工夫をするべき。
- ・立場的に日頃、コミュニティチャンネルを視聴するように心がけているが、家のものがチャンネルをかえてしまう。もっと努力すべき部分があるのではないか。
- ・旅する SUP は、素晴らしかった。入院中の方など、実際に行けない人が視聴すると元気がもらえると思うので、配信先の拡大を努力して欲しい。
- ・コミュニティチャンネルの視聴ターゲットは年齢が高い方が想定される。世の中は便利になっているが、IoT 技術など、ついていけないものもある。時代についていけるような番組作りをして欲しい。

(藤枝市 石川審議委員)

- ・トコチャンワイドは、前回指摘した点が改善されている。番組は無難な気もするので、今後は古谷委員が指摘したように衣装を工夫するなど、インパクトを残す努力をして欲しい。また、隣市町の「ふるさと納税」の情報や、土日に家族で出かけられる情報を金曜日の夜や土日の朝に知れると良い。
- ・旅する SUP は、大変良かった。地元を活性化させるために、海岸沿いだけでなく、湖やダムなど色々な場所で行って欲しい。
- ・テレビの EPG を見て番組を視聴する傾向にある。興味のひく番組タイトルや番組紹介文を掲載するよう、工夫していくと良いと思う。
- ・インターネットや SNS を利用しない人にとって、月刊トコチャン（地域情報誌）のような紙媒体は非常に大切である。例えば TOKAI ウォーターサーバーと一緒に配布するなど、拡大を進めてほしい。

(富士市 青木委員)

- ・個人的に SUP を経験したことがある。湖での SUP だったため、海での SUP は波など心配していたが、映像で見ることができ安心した。海に面している静岡には適した番組だと思う。Youtube にアップするなど、SNS を活用すると良いと思った。
- ・民放では、同じ時間帯に同じような内容の番組を放送している時が多いため、コミュニティチャンネルはその時間帯に地域情報番組を放送するなど、編成を見直し、差別化していくと良いと思う。

(審議会会長 大坪会長総論)

- ・コミュニティチャンネルは、「地域の制作者が、地域で、地域の方向けに」情報を発信する「地産地消型」。地域発信型等、独自性により地域でのアピール度を高めていくことで、地域コンテンツの魅力を高めてほしい。今後も番組制作・編成に努めてほしい。

以上